



ジュンサイを残そう市民の会 (実体顕微鏡で観察)



作成日：2021/02/06

活動日時	2021年(令和3) 2月 6日(土) 11:00~12:00
天 候	晴れ 大気はまだ冷たいが風無し 日差しが明るい
活動場所	管理地
参加者数	15名
活動内容	徳永さんが友人から譲り受けた実体顕微鏡の使い方を田中直義さんに注意点をご教授いただき、身近なものを探してきて観察した。観察したものは、アオミドロ、フラサバソウ、ユスリカ、アリ類、コケ類、シダ類、オギ、山茶花など。
備 考	松岡さんより、横林庸介さんより送付された『水草の生活史観察図鑑』水辺の植物同好会(横林庸介・山田寛治・梶野敬二著)が紹介された。 大貫さんよりカワセミなどの鳥の写真の提供を受けた。
記 録 者	写真：禿 文：禿



冬枯れのこの時季、観察体に適したものを探すのが大変！
幸いフラサバソウの花がかろうじて咲いており、虫はユスリカと小さなアリが一匹。実体顕微鏡でみる生物の姿は、驚くほど精巧で美しく、思わず感嘆の声があがった。
徳永さんと田中さんに感謝！！